JIS

ニッケル及びニッケル合金被覆アーク溶接棒

JIS Z 3224 : 2025

(JWES/JSA)

令和 7 年 2 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松橋隆治	東京大学
(委員)	安部泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江坂行弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大瀧雅寛	お茶の水女子大学
	片山英樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉片憲治	早稲田大学
	越川哲哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是永敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎名武夫	千葉大学
	寺家克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清水孝太郎	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
	清家剛	東京大学
	高津章子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高辻利之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田辺新一	早稲田大学
	田淵一浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	水流聡子	東京大学
	中川梓	一般財団法人日本規格協会
	久田真	東北大学
	廣瀬道雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星川安之	公益財団法人共用品推進機構
	細谷恵	主婦連合会
	村垣善浩	神戸大学
	山内正剛	国立大学法人信州大学
	山田陽滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 51.3.1 改正：令和 7.2.20

官 報 掲 載 日：令和 7.2.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本溶接協会

(〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20 溶接会館 TEL 03-5823-6324)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	2
5 品質	2
5.1 寸法及びその許容差並びに製品の状態	2
5.2 溶着金属の化学成分	2
5.3 溶着金属の機械的性質	10
6 試験方法	11
6.1 ロットの決め方	11
6.2 試験一般	11
6.3 溶着金属の分析試験	11
6.4 溶着金属の引張試験	12
7 検査方法	12
8 製品の呼び方	12
9 表示	13
9.1 製品の表示	13
9.2 包装の表示	13
10 包装	13
11 検査証明書	13
附属書 A (参考) ニッケル合金溶接材料の特性及び用途	14
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	18
解 説	22

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本溶接協会（JWES）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS Z 3224:2010** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ニッケル及びニッケル合金被覆アーク溶接棒

Nickel and Nickel-alloy covered electrodes

序文

この規格は、2023年に第4版として発行されたISO 14172を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

1 適用範囲

この規格は、ニッケル及びニッケル合金被覆アーク溶接棒（以下、溶接棒という。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14172:2023, Welding consumables—Covered electrodes for manual metal arc welding of nickel and nickel alloys—Classification (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS G 0321 鋼材の製品分析方法及びその許容変動値
- JIS G 1201 鉄及び鋼—分析方法通則
- JIS G 4902 耐食耐熱超合金、ニッケル及びニッケル合金—板及び帯
- JIS H 1270 ニッケル及びニッケル合金—分析用試料採取方法及び分析方法通則
- JIS Z 3001-1 溶接用語—第1部：一般
- JIS Z 3001-2 溶接用語—第2部：溶接方法
- JIS Z 3001-7 溶接用語—第7部：アーク溶接
- JIS Z 3111 溶着金属の引張及び衝撃試験方法
- JIS Z 3184 化学分析用溶着金属の作製方法及び試料の採取方法
- JIS Z 3200 溶接材料—寸法、許容差、製品の状態、表示及び包装
- JIS Z 3423 溶接材料の調達指針